

大 好き 安全・安心の広野産



▲子どもたちと交流を深めました

学校給食の食材生産者との給食交流試食会は1月25日、小学校で開催されました。学校給食週間の一環で、感謝の心や郷土愛を育てることが目的の交流会。

子どもたちと参加者は、学校栄養教諭から、献立の説明を受けた後、各学年のクラスに分かれ、献立の牛乳、みそ汁、赤魚の竜田揚げ、磯香和え、そして広野産のお米を食べ、和気あいあいとした給食の時間を過ごしました。

静 岡で広野産農産物をPR

第17回伊東温泉めちやくちや市が1月22日と23日の2日間、静岡県伊東市で開催され、広野町から認定農業者やニッ沼総合公園直売所利用組合員が参加し、広野産農産物をPRしました。

会場では、広野産のお米、大根、ジャガイモ、ニンジン、もち、塩、漬物などが販売されました。また、もちの試食会では、焼いたもちが多くの来場者へ振舞われ、やわらかくておいしいと大評判でした。



▲めちやくちや市の様子

首 都圏に広野町をPR

JR東日本のうつくしま浜街道観光キャンペーンにあわせ、浜通り地方の観光PRがJR水戸支社管内の主要駅で行われました。

浜通り地方の観光素材を首都圏に広く発信し、観光誘客を図るため、特産品や観光パンフレットをJR利用者 に配布しました。

広野町では、アヒル農法米などを配布し、PRに努めました。



▲うつくしま浜街道観光キャンペーンの様子
 (千葉県松戸市 松戸駅にて)



▲ボールを使って体を動かす園児

ボ ールを使って体操

園児たちにサッカーを通じて体を動かしている様々な体験をしてもらおうと、JFAアカデミー福島スタッフと東京電力女子サッカー部マリーゼ選手の指導による活動が2月4日に行われました。園児たちは、活動の中で友達と協力することなど体だけではなく頭で考えながらサッカーを楽しんでいました。



▲箒平地区の現状を聞き取る大学生

再 発見 箒平地区のいいところ

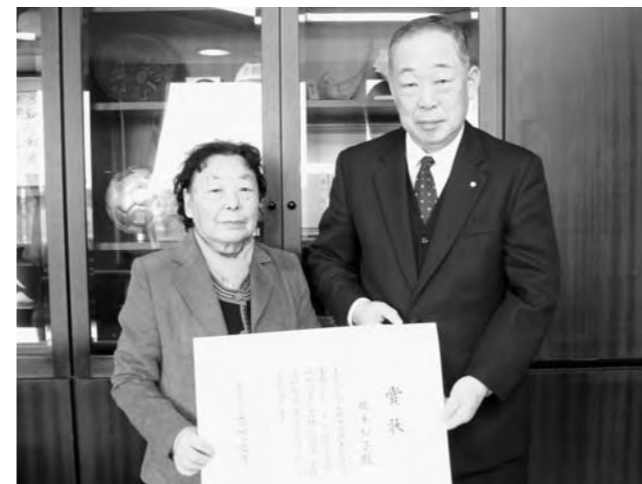
いわき明星大学鎌田ゼミ(人文学部現代社会学科 鎌田真理子教授)の学生が2月8日、箒平地区集会所を訪れ、鈴木恵太郎箒平地区行政区長の協力をいただき集落調査を行いました。

参加した学生からは、今後の箒平の空き家を利用して、夏休みに小学生の里山体験を受け入れるなど、自然と共生しながら集落活性化を図って行くべきではないかとの意見が出されました。

また、大学側では、来年度においても引き続き、県道の草刈や農作業ボランティア、そして、町が開催予定している集落活性化事業についても参加協力を予定しているとのこと。

受 賞おめでとうございます

2010年世界農林業センサス功績者として、根本和子さんが2月14日、農林水産大臣から表彰を受けました。根本さんはこれまでに調査員として、世界農林業センサスを4回、農業センサスを2回、調査に従事されました。その功績がたたえられ今回の受賞となりました。

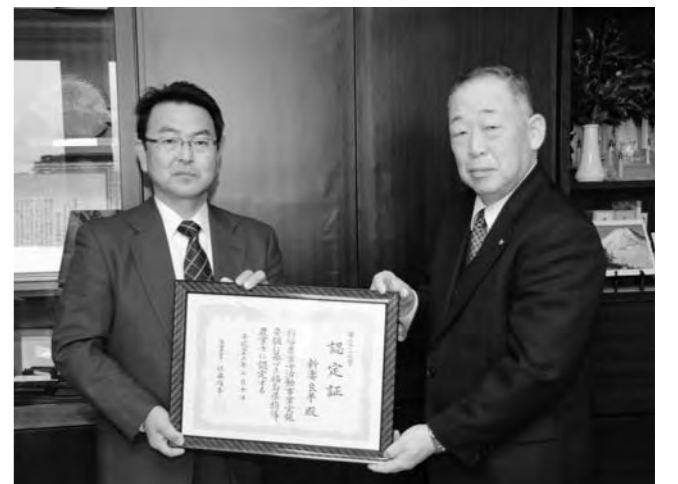


▲農林水産大臣表彰を受けた根本さん

広 野町で初の指導農業士誕生

福島県農業士認定証交付式は2月14日、二本松市内で行われ、新妻良平さんが県知事から福島県指導農業士に認定されました。広野町からは初の認定者となりました。

指導農業士とは、優れた農業経営を行うとともに青年農業者の育成に指導的役割を果たしている方を認定するものです。



▲広野町初の指導農業士 新妻さん